

小学部 6年 生活単元学習 学習指導案

日 時：平成29年12月13日（水）

2、3校時（10：00～11：20）

場 所：小学部学習室

指導者：米沢志江（T1） 柴田秀幸（T2）

1 単元名 「パワー全開お届け隊！～カレンダーを届けよう～」

2 単元の目標

知・技	・カレンダー作りに必要な道具の使い方に慣れる。
思判表	・見本や手順表、作り方のポイントや印などを手掛かりに制作する。
主体的	・地域の人へカレンダーを届けることを楽しみに、進んで準備をしたり、完成を目指しながら自分の役割に取り組んだりする。

3 児童と単元

本学級は男子3名で構成されている。2名が自閉的傾向を併せ有し、そのうち1名はてんかんのため、発作や体調への配慮を必要としている。また、全員が簡単な言葉でのやり取りや言葉による簡単な指示の理解ができる。制作については集中できる時間は限られているが、見本や手順表を見て作ったり、簡単な道具を扱ったりして取り組むことができるようになってきている。前単元「パワー全開お届け隊～大館駅へレッツ・ゴー～」では、校外学習でお世話になった大館駅の方へお礼をするため、マグネットを作って届けた。どの児童も駅へ行くことを楽しみに活動し、直接プレゼントを手渡すことで、喜んでもらう経験をし、また届けたいという期待感を抱いた。

本単元では、前単元での経験から、届ける相手についてさらに対象を広げ、これまでの学習でお世話になった地域の人へ紙すきを用いた手作りのカレンダーをプレゼントする。紙すきは中学部で取り組まれているため、児童にとって憧れの活動になると考える。また、カレンダーは児童もよく利用していて身近であり、制作に当たり工程の分担がしやすく、完成までの見通しをもちやすい。そのため、完成を目指して自分の役割に取り組みながら、みんなで作り上げることができる。カレンダーを作って届け、感謝される経験を繰り返すことを通して、自分で考えたり、「もっとやりたい」という思いをもったりしながら活動する姿へつながっていくと考え、本単元を設定した。

指導に当たっては、「主体的・対話的で深い学び」が実現するように、以下の点に留意する。

- ・見通しをもち、完成を楽しみにしながら制作することができるように、単元を通して「制作する」「届ける」の活動を繰り返す。また、自分で手順や方法を考えながら制作に取り組むことができるように、徐々に支援を減らしていく。
- ・より相手意識を高めながら制作できるように、相手の方と一緒に活動したときの様子を写真で振り返り、カレンダーにコメントを添える。
- ・友達のがんばりに目を向けたり、助け合ったりしながら制作することができるように、工程によって役割分担する。

4 指導計画（総時数 27 時間）

小単元名	小単元の目標		学び方			主な活動内容	時数
			主	対	深		
(1) お届け隊スタート ～作戦会議～	知・技	紙すきのやり方を知る。	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 単元の活動を知り、プレゼントする相手を決める。 中学部生の紙すきを見学する。 のぼりを作る。 	2 時間
	主体的	カレンダーを届ける相手を選ぶ。					
(2) お届け隊～カレンダーを届けよう～ ステージ 1 千葉さん	知・技	カレンダー作りに必要な道具の使い方を知る。	○	○		<ul style="list-style-type: none"> カレンダーを作る。 (写真選び、コメント書き、窓、ひも、車両、包装紙作り、紙すき) カレンダーを届けに行く。(校外学習) 活動を新聞にまとめる。 	5 時間
	思判表	見本や手順表などを手掛かりに、カレンダーを作る。					
	主体的	カレンダーを届けることを楽しみに、制作する。					
(3) お届け隊～カレンダーを届けよう～ ステージ 2 佐藤さん ステージ 3 野呂さん ステージ 4 モーリーファンタジー ステージ 5 大館駅	知・技	カレンダー作りに必要な道具の使い方を覚える。	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> カレンダーを作る。 (写真選び、コメント書き、窓、ひも、車両、包装紙、袋作り、紙すき) カレンダーを届けに行く。(校外学習) 活動を新聞にまとめる。 	5 時間 × 4 20 時間 (本時 18・19/20 時間)
	思判表	印や作り方のポイントなどに気を付けて作る。					
	主体的	もっと届けたいという意欲をもち、自分の役割に進んで取り組む。					

※ステージ 2～5 は、繰り返して活動を行う。

※千葉さん：比内地鶏の卵の販売、畑の先生をしていただいた近隣の方。

佐藤さん：掃除の学習でお世話になった町内の会長さん。

野呂さん：掃除の学習でお世話になった町内の副会長さん。(本時の相手)

モーリーファンタジー：校外学習でお世話になったイオン SC 内のゲーム店。

5 本時の計画

(1) 本時の目標

思判表	・ 作り方のポイントや印に気を付けながら、カレンダーを作る。
主体的	・ カレンダーを届けることを楽しみに、完成を目指しながら自分の役割に進んで取り組む。

(2) 学習過程

時間	学習活動	手立てと配慮点	評価の観点
10:00 (8分)	1 始めの会をする。 (1) めあて ①大館駅に届ける7～12月のカレンダーを作ろう。 ②紙すきをしよう。 (2) 個々のめあて (3) 合い言葉	・ 意欲を高めるために、前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 T1 ・ 活動内容が分かりやすいように、見本やイラストで示す。 T1 ・ 役割が分かって活動できるように、個々のめあてを確認する。 T1	・ カレンダーを届ける相手や自分の役割が分かっていったか。
10:08 (30分)	2 カレンダーの仕上げをする。 (1) 写真選び、コメント書き (2) 個々の活動 A: 包装紙、またはひも作り B: 窓の着色 C: 先頭車両作り (3) がんばり発表	・ 自分で考えながら制作できるように、直接の言葉掛けを控える。 ・ B が自分でできたか考えることができるように、「ここは？」と尋ねながら一緒に確認する。 T2 ・ A が次の活動について相談に来たときは助言する。 T1 ・ めあてに対する個々の頑張りに気付くことができるよう、よかった点を補足する。 T1、T2	・ 印に気を付けて紙を貼ったり着色したりしていたか。 ・ 仕上げの活動に自分から取り組んでいたか。
10:38 (5分)	3 休憩をする。	・ 気持ちの切り替えができるように、トイレや準備の手伝いを促す。	
10:43 (30分)	4 紙すきをする。 A、B: ミキサー C: はかり、紙すき 全員: 水切り 5 片付けをする。	・ 水の量やパルプの入れ方に気を付けて制作できるように、道具にポイントや印を付けておく。 ・ 片付ける場所が分かるように、写真やカードで示す。	・ ポイントや印に気を付けて作っていたか。
11:13 (7分)	6 終わりの会をする。 (1) がんばり発表 (2) シール貼り	・ 達成感を共有できるように、めあてに対する個々の頑張りを拍手などで認め合う。 T1、T2 ・ 次時の予告をし、期待感を高める。	・ 次回の活動内容が分かっていったか。

※Bに発作が起きた場合は、必要に応じてサポートルーム等で休養する。

※Aが疲れたときは、教師と話をして必要な場合は休憩をとることを認める。

(3) 本時の評価

- ・ 児童側・道具を一人で使ったり、作り方のポイントや印に気を付けたりしながらカレンダーを作っていたか。
- ・ カレンダーの完成を目指し、自分の役割に取り組んでいたか。
- ・ 教師側・児童が自分で制作を進めるための作り方のポイントや道具、環境設定などは適切であったか。
- ・ 児童に活動への意欲をもたせるための働き掛けは適切であったか。

(4) 環境設定について

